

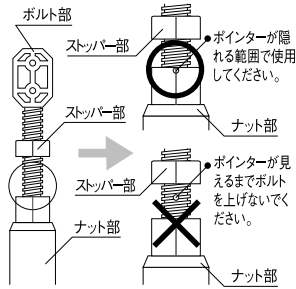
## プラ吊木 A140

### ■施工の前に

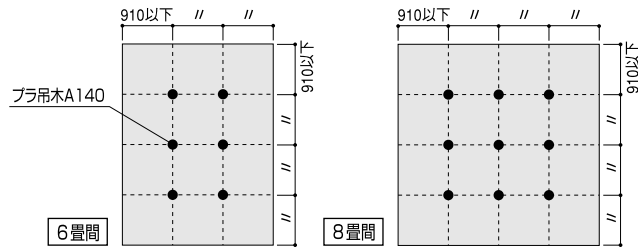
#### ①製品調整範囲の確認

プラ吊木A140は外寸で最大187mmまで伸ばして使用可能です。

- ボルト部には、施工可能な長さを示すポインターが付いています。
- ポインターがナット部にかくれている長さで使用してください。
- ポインターが見えていると、ボルト部とナット部の嵌合が不十分です。
- ストッパー部は緩めておいてください。



#### ②施工間隔

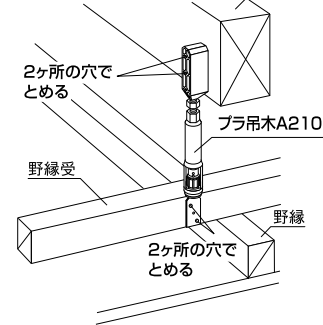


- 上図のように、プラ吊木A140は、910mm以下の間隔で取付けてください。また、壁際には使用しないでください。

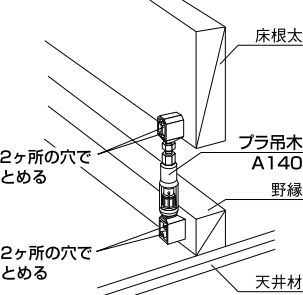
### ■施工手順

- ①プラ吊木は、中央付近から取り付けてください。
- ②プラ吊木の脚部に、野縁受け(または野縁)を付属釘で取り付けてください。2ヶ所の穴でとめてください。
- ③ボルト部を、床根太に付属釘(スクリングネイル)で取り付けてください。2ヶ所の穴でとめてください。  
※鉛直に取付けているか確認してください。  
※鉛直方向から5°以上傾かないように施工してください。

#### ●在来軸組工法の場合



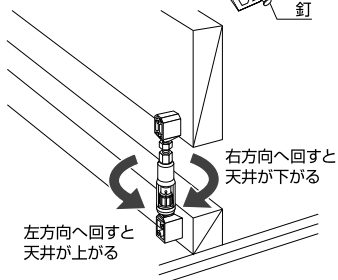
#### ●2×4枠組壁工法の場合



#### ボルト部

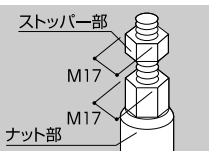
- ボルト部に先に釘をセットしてから施工できます。
- ボルト部に釘をセットすると、抜けにくい構造になっています。

#### ④プラ吊木のナット部を回して高さ調整ができます。



#### ⑤天井の縁のレベル調整の後に、ストッパー部でボルト部とナット部を固定してください。

- ストッパー部、ナット部ともM17の同規格です。M17スパナで、より確実に固定できます。

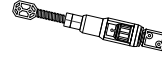


### ⚠注意

- 天井吊木以外の目的でご使用にならないください。
- 必ず専用釘(同梱)を使用してください。(吊木1個あたり上下各2本ずつ、計4本使用)
- 吊木に必要な以上の打撃を加えないでください。
- 吊木は鉛直に取付けてください。
- 吊木1本当たり25kgを越えないように施工してください。

### ■構成部材

#### ●本体

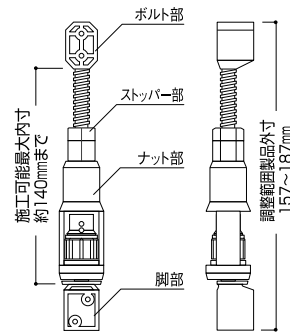


#### ●釘



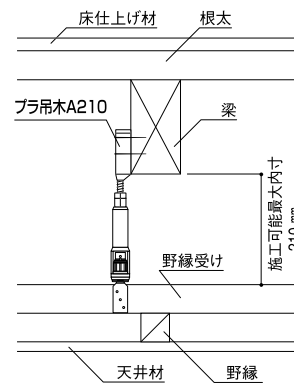
### ■製品図

#### ●プラ吊木A140



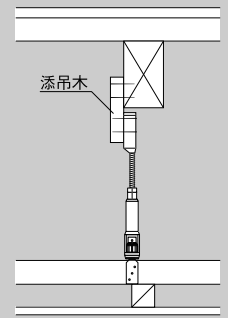
### ■参考納まり図

#### ●在来軸組工法の場合

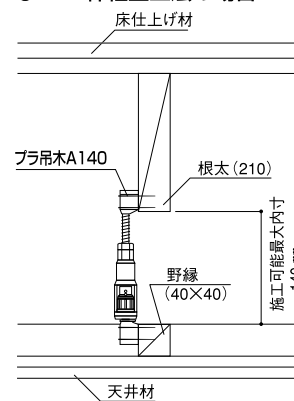


### ⚠注意

- 天井の懐が広い場合は、添吊木を使用してください。

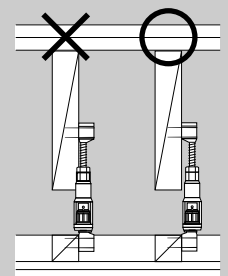


#### ●2×4枠組壁工法の場合



### ⚠注意

- ボルト部の向きに注意してください。反対にするとナット部が根太にあたります。



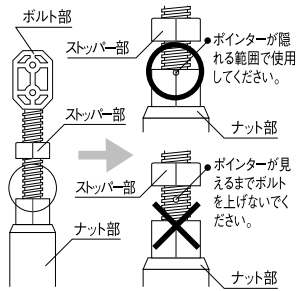
## プラ吊木A210

### ■施工の前に

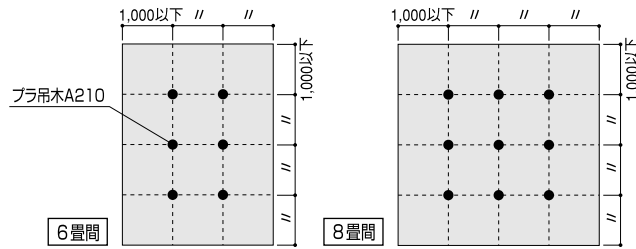
#### ①製品調整範囲の確認

プラ吊木A210は外寸で最大322mmまで伸ばして使用可能です。

- ボルト部には、施工可能な長さを示すポインターが付いています。
- ポインターがナット部にかくれている長さで使用してください。
- ポインターが見えていると、ボルト部とナット部の嵌合が不十分です。
- ストッパー部は緩めておいてください。



#### ②施工間隔

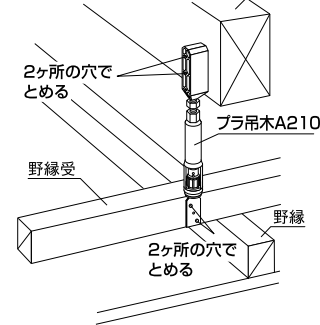


- 上図のように、プラ吊木A210は1,000mm以下の間隔で取付けてください。また、壁際には使用しないでください。

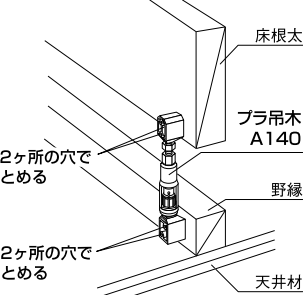
### ■施工手順

- ①プラ吊木は、中央付近から取り付けてください。
- ②プラ吊木の脚部に、野縁受け(または野縁)を付属釘で取り付けてください。2ヶ所の穴でとめてください。
- ③ボルト部を、床根太に付属釘(スクリングネイル)で取り付けてください。2ヶ所の穴でとめてください。  
※鉛直に取付けているか確認してください。  
※鉛直方向から5°以上傾かないように施工してください。

#### ●在来軸組工法の場合

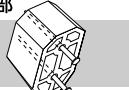


#### ●2×4枠組壁工法の場合

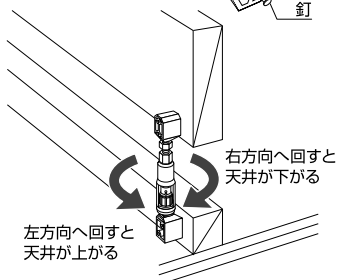


#### ボルト部

- ボルト部に先に釘をセットしてから施工できます。
- ボルト部に釘をセットすると、抜けにくい構造になっています。

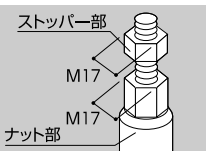


#### ④プラ吊木のナット部を回して高さ調整ができます。



#### ⑤天井の縁のレベル調整の後に、ストッパー部でボルト部とナット部を固定してください。

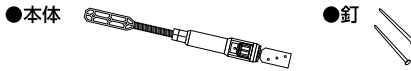
- ストッパー部、ナット部ともM17の同規格です。M17スパナで、より確実に固定できます。



### ⚠注意

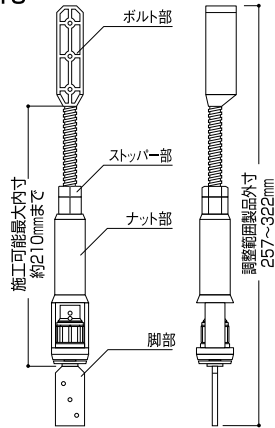
- 天井吊木以外の目的でご使用にならないください。
- 必ず専用釘(同梱)を使用してください。(吊木1個あたり上下各2本ずつ、計4本使用)
- 吊木に必要な以上の打撃を加えないでください。
- 吊木は鉛直に取付けてください。
- 吊木1本当たり25kgを越えないように施工してください。

### ■構成部材



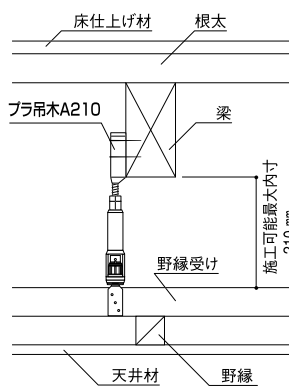
### ■製品図

#### ●プラ吊木A210



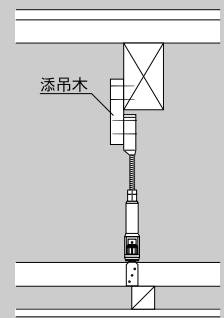
### ■参考納まり図

#### ●在来軸組工法の場合

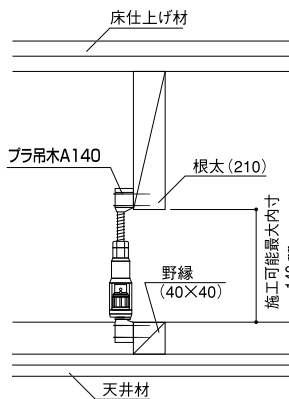


### ⚠注意

- 天井の懐が広い場合は、添吊木を使用してください。



#### ●2×4枠組壁工法の場合



### ⚠注意

- ボルト部の向きに注意してください。反対にするとナット部が根太にあたります。

